

山毛榉(ぶな)の子 野沢温泉学園だより第2号

～子どもたちが、ブナ(村木)の若葉のごとく、力強くたくましく伸びてほしいとの願いを込め～

令和6年度 野沢温泉学園 学園長・副学園長の紹介

学園長



野沢温泉中学校長
石原 英樹

この4月から野沢温泉中学校長としてお世話になっている、石原英樹です。出身は上田市(旧丸子町)で、現在は中尾の教員住宅に住んでいます。5月の連休中には、やまびこ・上ノ平ゲレンデで、春スキーを楽しむことができました。

現在、中学校は、58名の生徒たちの笑い声や元気な姿に溢れていて、活気のある毎日です。今年度は、学園長として、幼保小中一貫教育の強みを生かし、これまでの11年間の学園の取り組みの積み重ねを大切にしながらも、子どもも学校職員もそれぞれの校園の枠を越えて、気軽に一緒に活動することを模索していきたいと考えています。さらなる学園の発展と子どもたちの今と未来の笑顔のために、チャレンジしたいと思いますので、よろしくお願い致します。

副学園長



野沢温泉小学校長
雪入 哲也

この4月よりお世話になっております、野沢温泉小学校長の雪入哲也です。着任して驚いた1つが立地の良さ。こども園、小学校、中学校、そして役場までが全て徒歩数分で行き来できるという距離の近さです。さらにその良さを生かした野沢温泉学園の構想も素敵だなあと感服しました。子どもたちのつながりも強く、小中学生と一緒に登下校する姿や、園の児童に小学生が声を掛ける姿を日々目にしています。郷里を同じくする者同士年齢を超えて絆を深め、故郷野沢温泉への愛着・思いを強くもってほしいと思います。そのために微力ではありますが精一杯努めますので、どうぞよろしくお願い致します。

副学園長



のざわこども園長
岸 香理

新入園児を迎え新年度が始まりました。昨年度から徐々にコロナ前の活動や交流が復活し、こども園の園児が小中学校の児童、生徒と交流活動を行うことができました。また小中学校の先生とこども園の職員が連携を取りやすくなったと感じています。

保護者、地域の皆様にも生き生きとした子ども達の姿を感じていただけるよう、子ども達の発想や学園職員でアイデアを出し、進めていければと思っています。

今年度もできることから始めていき、野沢温泉学園の良さや活動を発信していきたいです。どうぞよろしくお願い致します。

野沢温泉学園
令和6年度が
スタート!



第1回 学園職員会議

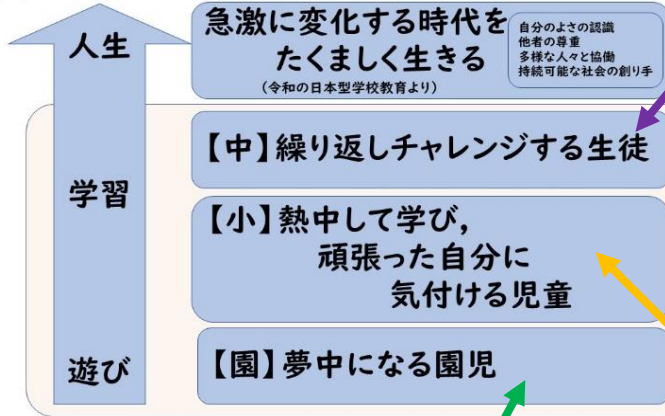
野沢温泉学園では、毎年2回の学園授業研究会を開催し、授業の質の向上を目指しております。今年度も東京学芸大学教職大学院准教授の渡辺貴裕先生に本学園の中心講師をお願いし、

年2回（6月と11月）の学園授業研究会でのご指導とご講演、また夏休み期間中の職員研修会では、授業づくりについてご指導をいただきます。

学園では、今年度も「学習する子どもの視点に立った授業づくり」を大切に、全職員で子どもの学ぶ姿を語り合い、子どもの姿から学んでいきます。

「目指す子どもの姿」と「研究テーマ」

学園の目指す子どもの姿



中学校 研究テーマ

友と学び合いながら自分の考えを深め・伝え合う授業づくり
～「繰り返しチャレンジする姿」を求めて～

小学校 研究テーマ

児童の願いと教師が目指す子どもの姿が一致する授業づくり
～「知りたい!」「やってみたい!」が生まれる問い～

こども園 研究テーマ

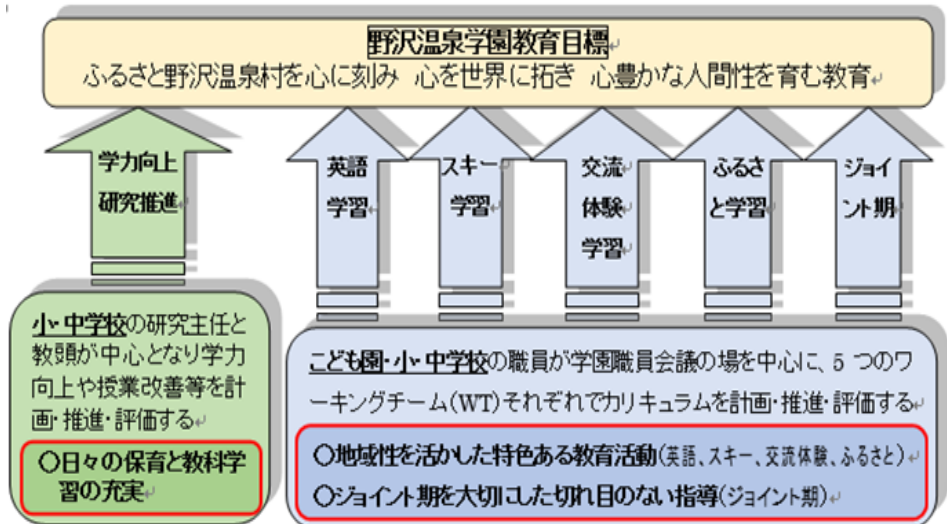
子どもの自由な発想を引き出し、夢中になる園児
～環境を見つめ直す～

ワーキングチームの活動

野沢温泉学園教職員の中心活動として、5つのワーキングチーム（以下、WT）があります。

今年度も野沢温泉村という地域性を活かして、教育活動に取り組んでいきます。

今年度の各WTの重点を紹介します。



WT 令和6年度の取り組みの重点

- 英語学習** 地域の良さ、幼保・小中のつながりを生かしたカリキュラム作りをすすめる。
- スキー学習** スキーに関わる人々の願いや思いに触れる場面を設ける。
- 交流体験学習** 地域ボランティアの積極的な活用と、子ども主体で交流を企画する場面の設定。
- ふるさと学習** 村のひと・もの・ことを学習材とした“地域にひらいた”学びを推進していく。
- ジョイント期** 目標や願う子ども像を共有し、切れ目のないいだらかな指導を行う。